

墨田区基本構想審議会委員より寄せられた、
「人として大切にしていけるべき理念」(30件)

つながり・地域

- ・道端で「あいさつ」を交わす隣人関係。
- ・さまざまなコミュニティのレイヤーの重層化。
- ・墨田区内における各分野のイベントを通して人と人を結び付けられるようにしていきたい。地域で住民が参加でき、人と人が行き来できお互いを知ることができる場を設けていきたい。
- ・単身者世帯が増えていく現状、墨田区へのシビックプライドを醸成できるよう、いろんなことに参加しやすい環境を作る。
- ・人の繋がりを中心とした地域のネットワークをどのようにかたちにしていくか。
- ・古くから言われている向こう三軒両隣の精神のもと日常親しく近所の人と交際することが欠かせない。
- ・隣近所との地域活動を密にし、家と家の隙間を交流の場として感じる関係性が深まるのが大切です。そのためには、地域での普段の生活の中で、顔を合わせることが増えるコミュニティ作りが必要となります。プライバシー確保、個人情報保護という流れの中で、お互いを知る機会が減りつつありますが、お互いの顔が見える地域活動を通してお互いを知る機会を増やすことが可能となります。防災活動、祭り、餅つき、こども夜警、花火大会、リサイクル運動等を通して、知るきっかけが増えることが大切だと思います。
- ・「人 つながる 墨田区」というシティプロモーションで作成された言葉は、すでに多くの区民に認知されているので、基本構想の中でも大事にしていくべきだと思う。

主体性

- ・1人1人がこの町の一員であり、主人公であると感じられること。
- ・自分たちが住みやすいまちをつくるというマインド。
- ・区の皆様が一人一人、ゆとり、うるおい、やすらぎに満ちた地域づくりに努力すべきと考える。
- ・自立的であり自己肯定感を維持しながら各々が暮らしを楽しむ気風。
- ・行政に任せるだけでなく、一人一人が子育てや介護を支援する意識の醸成を。
- ・すみだに関わる人がそのこころよさを実感し、つながっていく中で、当事者として能動的に発信していくこと。

学び・継承

- ・「ものづくり」の伝統と創造性を尊重するすみだ文化の醸成。
- ・歴史と文化を重んじさらなる発展に向け歩むこと。
- ・伝統を学び、大切にするとともに新しいことにチャレンジ。
- ・墨田区の歴史や生活文化を住んでいる街のを知ること。
- ・歴史のある建造物を大切に、伝統的な文化を学び、次代に継承する。
- ・墨田区に合う新しい文化を受け入れて、広げる。
- ・歴史や伝統を大切に、すみだの持つ素敵な文化を我がまちの日常として保持、継承していくことは、人として大切であると考えます。音楽等の文化芸術によって得られる感動を通じ

て、未来を担う子どもたちの健やかな情操教育にもつながると考えます。音楽都市すみだの実践を広く区民等が知り、地域が身近に音楽にふれあうことで、潤いのある生活につながっていくものと考えます。

思いやり・共生

- ・助け合いの精神。
- ・共助の発想が普通に備わっていること。
- ・お互いに思いやりをもって暮らすこと。
- ・老若男女、国籍関係なく集まってくる人たちを歓迎する。
- ・誰もが（ひとりひとりが）その人らしく、この町で豊かに生きられるよう、互いを尊重し合えること。
- ・新旧の住民がお互いの違いを尊重して、自分の地域の知識を（区報・ホームページなどで）得て楽しい気持ちで暮らすこと。

上記に分類されないもの

- ・基本構想が扱う「ひと」は、暮らす人・仕事をする人や事業者・訪れる人をそれぞれ別に意識すると同時に、大切にする優先順位を明確にするべきだと思料。最終的には居住する区民が暮らしやすい「まち」にするための、教育・福祉の充実が最重要だと位置付けた上で、事業者が事業をしやすい環境、そこに働く人が働きやすい環境を作ること、同時に訪れる人にとって魅力的な「まち」を作ること、非居住者が「いつかは住んでみたい」と思っていただけのような、憧れの「まち」を作ること为目标にできると良いと思います。
- ・過ごしやすい街づくりのポイントは「子育てしやすい街」「老人が暮らしやすい街」ではないかと思います。「子育てしやすい」とは、そのために必要な施設、社会的保障、福祉の充実など。「老人が暮らしやすい」とは、住む場所の確保・保障、交流できる場所づくり、移動しやすい環境づくり、不安・心配などの相談対応が気楽にできるしくみづくり。
- ・ビル砂漠の中で、いやしがかなえられる自然の豊かさの追求。

※アンケートの原文ママで意見を掲載しています。